

神さまがお造りになったものたち

<今月の聖句> 「求めなさい。そうすれば与えられる。  
探しなさい。そうすれば見つかる。」  
(マタイによる福音書7章7節)

「みて、みて、ほら、こんな大きいダンゴムシいたよ」  
見るとそれは小さい手のひらの上で、一生懸命体を丸めようとしていた。  
満足げな笑顔でさらに「まだまだいるよ、ほら、この下にも」と言って  
プランターをよいしょと持ち上げて見せてくれる。うじゃ、うじゃ。  
す、すごい。見る間に一人また一人、集まってくる子らみんなで腰をかがめる。  
観察する子、自分も捕ってみようとする子、少しだけ怖がる子。  
同じダンゴムシに対してでも、子どもたちの反応はさまざま。

そうこうしていると、「ねえ、見て、タコさんウイナーだよ」と後ろから声。  
見れば、右と左の手に一つずつ、ほんと、色も形もまるでタコさんウイナー。  
「わ、おいしそう、どこにあったの?」「そこ!」と指をさした先に  
「ほんとだ、咲いてる咲いてる、タコさんウイナーだ!」  
実はそれ、ザクロの花でした。でも、どう見ても、もはやウイナーにしか見えない。

ほんの少しの間、園庭で遊ぶ子どもたちの間に入れてもらっただけで  
こんなにも自然と戯れ、いろんな宝物を発見し、楽しく遊びが深まっていく。  
きっとお造りになった天の神さまも微笑んで見ておられるだろう。

あるとき、誰もいない園庭の畑で、収穫間近の玉ねぎを抜いてかじられる事件が。  
いったい誰だ? せっかくみんなで植え育て、ようやく丸々育った玉ねぎなのに!

「あ、おサルさん!」。ある子が逃げる後ろ姿を見かけ、教えてくれた。  
「そうか、あいつか」。さあ、大変。全部かじられたら一大事。  
早速次の日収穫作業が始まった。よいしょ、よいしょ。みんなで抜いたら  
テーブル山盛りに積み上がった。丁寧に天日干しにして、しばらくしたらお昼  
ご飯に甘くてやわらかい玉ねぎが添えられるでしょう。  
(つくし保育園園長 つだかずお)

<花の日こどもの日礼拝のご案内>

神さまが造られ、育て、守ってくださっている自然、いのち、子どもたち盛夏を  
前に、みんなで神さまに感謝を捧げましょう。

当日礼拝にみんなで飾りますので、出来る方は野の花をご持参ください。

6月29日(日)朝10時30分～ 醍醐教会(お庭のチャペル)